

# 山口 創

YAMAGUCHI, So



講師

所属…環境学部 環境学科  
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

so-yama@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ **主な担当科目** 農村の持続的発展、都市の持続的発展

■ **研究者略歴**

2007 (平成19) 年 3月	神戸大学農学部食料生産環境工学科 卒業
2010 (平成22) 年 3月	神戸大学大学院農学研究科食料共生システム学専攻 博士課程前期課程修了
2011 (平成23) 年 4月	日本学術振興会特別研究員 (DC2) (~2013年3月)
2013 (平成25) 年 3月	神戸大学大学院農学研究科食料共生システム学専攻 博士課程後期課程修了 博士 (農学)
2013 (平成25) 年 4月	神戸大学大学院農学研究科附属食資源教育研究センター 特命助教
2017 (平成29) 年10月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 講師

Research

■ **取得学位** 博士 (農学) (神戸大学)

■ **専門分野** 農村計画学、ナレッジマネジメント、農業経営学

■ **現在の研究テーマ**

- ・ 農業・農村におけるナレッジマネジメント理論の構築に関する研究
- ・ 在来品種の特産化手法の構築に関する研究
- ・ 農村地域における人材育成に関する研究

■ **所属学会** 農村計画学会、地域農林経済学会、日本農業経済学会、環境情報科学センター、日本農業経営学会

Data

■ **研究等活動**

【著書】

- ・ 山口創 (2018) 在来品種の特産化プロセスと活用に向けた方策—丹波黒、薦池大納言を事例に一, pp.83-93, 地域固有性の発現による農業・農村の創造 (中塚雅也編著), 筑波書房.
- ・ 山口創 (2016) 黒大豆栽培における知恵の継承と創造, pp74-87, エシカルな農業 (伊藤一幸編著), 誠文堂新光社.

【論文】

- ・ 山口創 (2017) 住民主体の自然資源の保全活動における知識管理の実態と関係主体の役割—あびき湿原の保全活動を事例として—, 環境情報科学学術研究論文集31, pp71-76. (査読有)
- ・ 山口創 (2016) 農場実習における大学生の知識習得・意識変化に影響する要因の分析, 農業経済研究, 88(3), pp. 345-349. (査読有)
- ・ 山口創・吉田康子 (2016) テキストマイニングを用いた農場実習における大学生の学習内容の把握, 環境情報科学論文集 30, pp. 243-248. (査読有)
- ・ 山口創 (2016) 教育関係共同利用拠点制度における大学農場の農業実習教育の展開と課題, 農林業問題研究, 52, pp. 205-210. (査読有)
- ・ 山口創 (2015) 在来品種の顕在化プロセスと展開課題, 環境情報科学論文集29, pp.83-88. (査読有)
- ・ 山口創・趙松楠・中塚雅也・山下良平 (2014) テキストマイニングによる農村地域課題の特性と変化の把握—兵庫県を事例として—, 農林業問題研究, 50 (2), pp.107-112. (査読有)
- ・ 山口創・中塚雅也 (2013) 黒大豆特産地にみる農業生産知識の管理構造, 農林業問題研究, 49 (1), pp.32-37. (査読有)
- ・ 山口創・中塚雅也 (2012) 集落営農組合の知識管理と地域における役割—兵庫県篠山市の黒大豆生産を事例として—, 2012年度日本農業経済学会論文集, pp.61-68. (査読有)
- ・ 山口創 (2012) 生産者の知識獲得におけるコミュニティの機能—兵庫県篠山市の黒大豆生産を事例として—, 農業経営研究, 50 (3), pp56-61. (査読有)
- ・ 山口創・中塚雅也 (2011) 地域ナレッジの共有と集落特性の関係性, 農林業問題研究, 47 (2), pp.231-236. (査読有)

【発表】

- ・ 澤田裕貴・山口創・吉田康子 (2017): 大納言アズキの粒の大きさおよび収量関連形質における遺伝子型×環境交互作用.第131回日本育種学会.
- ・ 山口創・吉田康子 (2016): テキストマイニングを用いた農場実習における大学生の学習内容の把握, 第30回環境情報科学学術論文発表会.
- ・ 山口創 (2015): 在来品種の顕在化プロセスと展開課題, 第29回環境情報科学学術論文発表会.

■ **社会貢献活動**

- ・ 第49回 J A 鳥取県大会審議委員会委員